

書名	図説 一冊で学び直せる日本史の本		著者名	後藤武士／監修			
出版社	学研プラス	ISBN	978-4-05-406701-1	本体価格	¥720	発売	2019/2/1
内容	古代から現代まで、日本史を一気に学び直せる一冊。監修には人気著者・後藤武士氏を迎え、歴史の本質的なポイントをわかりやすく提示する。また、最新研究によって明らかになってきた事実など、過去の学習体験との違いについても、解説する。						

書名	ハッキリ言わせていただきます！ 黙って見過ごすわけにはいかない日本の問題		著者名	前川 喜平 谷口 真由美／著			
出版社	集英社	ISBN	978-4-08-786110-5	本体価格	¥1,600	発売	2019/2/5
内容	政治、教育、憲法、沖縄……最近の世の中、黙ってスルーしていると、どんどんおかしな方向へ進みそう。そんな日本の大問題に、大阪のおばちゃんとお嬢ちゃんのおっちゃんが激アツのツッコミ入れさせていただきます！						

書名	ここが変わる！ 日本の考古学		著者名	藤尾慎一郎・松木武彦／編			
出版社	吉川弘文館	ISBN	978-4-642-08342-3	本体価格	¥2,000	発売	2019/2/15
内容	近年の考古学の発展を受けて、日本の古代史像が大きく変化してきている。縄文・弥生・古墳の各時代のはじまりをどうとらえるか、多様性をもった縄文文化の実態、格差や戦いが生まれた弥生時代、王宮の変遷からみえる古代国家の形成過程、自然科学的な分析の進展がもたらす成果など、第一線で活躍する考古学・古代史研究者がわかりやすく解説する。						

書名	精選 折口信夫 第V巻 随想ほか・迢空詩編		著者名	折口 信夫著、岡野 弘彦／編			
出版社	慶應義塾大学出版会	ISBN	978-4-7664-2552-9	本体価格	¥2,800	発売	2019/2/22
内容	第V巻では、自身や家族、師・友との交遊、奈良・明日香などの随想を中心に、神道論、詩論、学問論と「民族史観における世界観念」の草稿を収録。迢空の詩作品も抄録する。						

書名	記憶の図像学			著者名	加須屋 誠／著			
出版社	吉川弘文館	ISBN	978-4-642-08348-5	本体価格	¥2,500	発売	2019/2/25	
内容	造形的な美しさで人びとを魅了する仏教美術。時に作品は死者への切実な想いにより制作され、敬われ、残されてきた。聖徳太子や源頼朝の追善供養、藤原道長の逆修供養、源信による臨終行儀作法などをとりあげて、死と向き合うことの意味を歴史的事象からさぐる。作品を、生者と死者とのつながりとして捉え直し、その果たしてきた社会的役割を描く。							

書名	再考！ 縄文と弥生			著者名	国立歴史民俗博物館・藤尾慎一郎／編			
出版社	吉川弘文館	ISBN	978-4-642-08349-2	本体価格	¥2,400	発売	2019/2/25	
内容	炭素14年代測定法により縄文土器の出現が約3500年、水田稲作の開始が約500年さかのぼり、日本列島の先史文化の見方が大きく変わった。奄美・沖縄や朝鮮半島との関係、英国のベイズ編年モデル、旧石器文化と古墳文化など、多彩なテーマを取り上げ縄文・弥生文化を再考。世界の先史時代との関係性も重視しつつ、新たな学問の地平を切り開く。							

書名	日本史のしくみー変革と情報の史観			著者名	林屋辰三郎／梅棹忠夫／山崎正和 編			
出版社	中央公論新社	ISBN	978-4-12-206700-4	本体価格	¥880	発売	2019/2/27	
内容	歴史とは変革の歴史であり、情報が歴史を動かす——。古代の倭国の大乱から第二次大戦後までを一二期に区分し、歴史を考える論点を提示する。編者に上田正昭、司馬遼太郎、原田伴彦、村井康彦を加えた多彩な執筆陣がユニークな視点から日本史のしくみを解き明かした記念碑的著作。							

書名	日本史年表・地図（2019年版）			著者名	児玉幸多／編			
出版社	吉川弘文館	ISBN	978-4-642-09546-4	本体価格	¥1,300	発売	2019/2/25	
内容	年表は政治・外交・文化の外、世界史の事象を縦の帯とし、横に年代を揃えて時代の流れを有機的に把握できる。地図は政治・経済・文化事象の地図化と諸事項の表示に新工夫を施し、毎頁図版説明と時代概観を脚注で示す。							